

(4) 奈良県市町村立小中学校事務職員の資質向上に関する指標

| 奈良県<br>の目指す教育  |  | 本人のための教育   |  |   |   |   |                  |          |
|--|--|--|--|---|---|---|------------------|----------|
| 基本理念<br>一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ   |  | 奈良県教育振興大綱  |  |   |   |   |                  |          |
| 施策体系の<br>テーマ   |  | 地域と協働して活躍する人を育てる<br>奈良の学び推進プラン   |  |   |   |   |                  |          |
| スタート時  |  | 分野   | 項目   | 基礎形成期<br>(自習・習熟4年目以下の主要)  | 基礎定着期<br>(自習・習熟4年目以上の主要・主任主要)   | 伸長期<br>(自習・主要)  | 充実期<br>(自習・主任主要) | (事務リーダー) |
| <p>学校教育の目的を達成するために必要な資質を育むこと</p> <p>学校教育の目的を達成するために必要な資質を育むこと</p> <p>学校教育の目的を達成するために必要な資質を育むこと</p> <p>学校教育の目的を達成するために必要な資質を育むこと</p> <p>学校教育の目的を達成するために必要な資質を育むこと</p> | <p>主体的に学び続ける姿勢</p> <p>コミュニケーション能力</p> <p>企画運営調整・マネジメント</p> <p>連携・協働</p> <p>危機管理</p> <p>児童生徒理解・教育活動</p>                     | <p>環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</p> <p>教職員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</p> <p>法令や規程規律の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</p> | <p>学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に学校運営に参画することができる</p>  | <p>学校評価や監査結果等から学校の取組の成果と課題を把握し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、他の教職員に助言することができる</p>   | <p>学校の教育目標の達成に向けて、学校組織マネジメントの手法を取り入れながら学校経営計画を推進するとともに、学校評価結果を反映させた学校改善を推進することができる</p> <p>学校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりを提案することができる</p>  | <p>事務職員組織の目指す目標を定めて専攻の共有を図り、その達成に向けて組織内の事務職員を支援しリードすることができる</p>               |                  |          |
|  |  | <p>・学校間及び地域や関係機関等との連携の実態を把握することができる</p> <p>・地域との連携活動に積極的に関わって地域の人材・資源を知るとともに、地域コーディネーターの役割や仕事内容を理解することができる</p>   | <p>・家庭や地域、関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した活動を推進することができる</p> <p>・学校運営協議会・学校評価委員会等へ参画し、自校の活動を支えつつ理解と協力を得ることができる</p> <p>・家庭や地域、関係機関等と連携・協働した活動を計画・推進するとともに、自校の課題を解決するための手法について他の教職員に助言することができる</p>                                  | <p>・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりを行うとともに、学校を取り巻く資源を効果的に活用することができる</p> <p>・自校の課題解決に向け、家庭や地域、関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</p>   | <p>・事務職員組織における業務の円滑な実行のためのために、校長会・教頭会及び教育委員会や関係機関と連携を図ることができる</p>   |   |                  |          |
|  |  | <p>・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる</p> <p>・危機管理マニュアル等を確認しながら、未然防止のための身の回りの安全点検を行うことができる</p>   | <p>・危機管理の重要性や自己の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる</p> <p>・安心・安全な学校づくりのために、他の教職員と協働して取り組むことができる</p>   | <p>・安全点検の集約やマニュアル整備など、教職員の中心となって危機の未然防止に取り組むことができる</p> <p>・危機管理に関する課題解決に向けた提案・改善等、具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</p>  | <p>・事務職員組織内の学校の危機管理に関する課題解決に向けて、情報提供等の支援をすることができる</p>   |   |                  |          |
|  |  | <p>・自校の教育目標と連及び市町村の教育目標との関連を理解するとともに、自校の教育活動の実態を把握することができる</p> <p>・自校の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握し、児童生徒に関わることができる</p>   | <p>・教育課程を理解し、自校の経営計画と事務部経営計画を関連させて事務部経営計画に組み込み、学校行事や教育活動を支援することができる</p> <p>・児童生徒の自己存在感を高めることを意識して、積極的に児童生徒に関わることができる</p>   | <p>・各種校内対策委員会等に参画して自校の教育課題に対する解決策を検討するとともに、教職員とともに課題解決に取り組むことができる</p> <p>・自校の提案研究等に参画して児童生徒の活動実態を把握し、支援策・環境整備について提案することができる</p>   | <p>・自校の取り組みべき教育課題を明らかにし、目標達成のための効果的な手段を提案するとともに、組織的な取組を推進することができる</p> <p>・自校の力やノウハウ・マネジメントの価値を率先して取り組むことができる</p>  | <p>・事務職員組織内の学校の学校事務を効率化し、教員が教育活動に専念できる環境を支援することができる</p>                       |                  |          |
|  |  | <p>・市町村立小中学校事務職員標準の職務内容一覧表に示された職務内容を把握し、事務部経営計画を立案することができる</p> <p>・自己の業務と児童生徒の活動を関連付けすることができる</p>  | <p>・市町村立小中学校事務職員標準の職務内容一覧表に示された職務内容を把握し、事務部経営計画を立案することができる</p> <p>・市町村立小中学校事務職員標準の職務内容一覧表に示された職務内容に関する実務に取り組むことができる</p> <p>・研修及び研究の意義を理解して意欲的に取り組み、その成果を自己の業務実践に生かすことができる</p> <p>・学校事務の効率化や業務改善等の研究に積極的に取り組むことができる</p> | <p>・自校の教育目標の達成に向けて、目標と実践と評価を一体化した事務部経営計画を立案することができる</p> <p>・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案することができる</p> <p>・職務主任としてマネジメントの手法を取り入れて事務部経営計画を推進することができる</p> <p>・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、他の教職員が担当する学校事務に関して指導・助言することができる</p> <p>・自校の研究活動に参画し、学校事務と結び付けて研究推進に取り組むことができる</p> | <p>・自校の教育目標達成の観点から、他の分掌と協働できる事務部経営計画を立案し、学校経営計画の構想等に対して助言することができる</p> <p>・前掲の視野に立って学校業務の改善を提案することができる</p> <p>・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務に関する諸規定を踏まえて、他の教職員が担当する学校経営を考えた校内で協働して取り組むことができる</p> <p>・今日の教育の動向を把握し、学校事務と結び付けて必要となる専門性を追求するための研究に取り組むことができる</p> | <p>・事務職員組織の在り方や課題解決に向けた研究に取り組むとともに、組織内の事務職員に対して資質向上・研究推進に係る指導・助言をすることができる</p> |                  |          |
| <p>・目標に照らし合わせて自己の業務を評価し、改善に取り組むことができる</p> <p>・他の教職員からの助言・支援を業務の改善に生かすことができる</p>  | <p>・自己の業務の進捗状況や完成度から進め方や手順を評価し、課題を明確にした上で、改善に取り組むことができる</p> <p>・他の教職員と協働する業務について協議し改善を生かすことができる</p>                        | <p>・目標達成度から適切に学校事務を評価し、課題に対する解決方法を明確にして改善に取り組むことができる</p> <p>・他の教職員が担当する学校事務に対して、具体的な改善案を示しつつ、助言することができる</p> <p>・自校の研究活動に参画し、学校事務と結び付けて研究推進に取り組むことができる</p>                        | <p>・自校の課題への対応や事務部経営計画の達成の観点から学校事務を評価し、率先して改善に取り組むことができる</p> <p>・学校事務における業務改善をリードしつつ、他の教職員に指導・助言することができる</p>  | <p>・事務職員組織の在り方や課題解決に向けた研究に取り組むとともに、組織内の事務職員に対して資質向上・研究推進に係る指導・助言をすることができる</p>   |   |   |                  |          |
| <p>・他の事務職員から学ぶという意欲をもち、学んだことを日々の業務に生かすことができる</p>   | <p>・自己の役割を理解し、他の事務職員と協働して取り組むことができる</p>  | <p>・自ら役割を担いそれを的確に果たすとともに、積極的に他の事務職員を支援することができる</p>   | <p>・事務リーダーを補佐し、業務改善・効率化及びICTによる人材育成を推進することができる</p>   | <p>・グループワーク及び共同学校事務室活動をさらに進展させ活性化をリードするとともに、後進を育成することができる</p>   |   |   |                  |          |
| <p>・児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をすることができる</p> <p>・課題を抱える児童生徒やその保護者に対して、担当分掌業務を通して情報提供や環境整備等の支援をすることができる</p>   | <p>・学校全体に係る特別支援教育を理解し、適切な支援方法についての情報等を収集し自校の活動を支援することができる</p> <p>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、行政職員の視点から提案することができる</p> | <p>・事務職員組織内の学校の特別な配慮や支援対応に関する課題解決に向けて、情報提供等の支援をすることができる</p>  |  |   |   |   |                  |          |
| <p>・ICT活用についての知識・技能を身に付け、学校事務の遂行において、ICTを適切に活用することができる</p> <p>・教育データを適切に活用することの意義と効果を理解するとともに、自校の活用実態を把握することができる</p>   | <p>・学校事務の効率化を図るために、ICTを活用した効果的な業務改善に取り組むことができる</p> <p>・学習指導と生徒指導等の改善のための、自校の教育データ活用を支援することができる</p>                         | <p>・教職員が校内情報を共有するための環境を整備し、利活用を促進することができる</p> <p>・教職員が教育データを適切かつ効果的に活用するための環境を整備し、活用を促進することができる</p>  | <p>・ICTを活用した学校事務の強化に取り組むとともに、ホームページ等による学校情報の発信を推進することができる</p> <p>・提案改善や効果的な指導・支援を充実させるため、教育データの活用に関する評価・改善について支援をすることができる</p>  | <p>・事務職員組織内の学校のICT活用による学校事務の強化をリードするとともに、教育委員会との連携により教育データ活用の環境整備を推進することができる</p>  |   |   |                  |          |

※ 事務職員組織とは、グループワーキング及び共同学校事務室、事務研究会等の組織をいう。

(5) 奈良県校長の資質向上に関する指標

| 求められる役割         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校内外の実態に基づいた学校経営目標を提示し、広い視野とリーダーシップを発揮して学校経営を推進する。</li> <li>○ 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できるよう人材を配置し、健全で安全な組織づくりを推進する。</li> <li>○ 学校の教育力増進のため、学校をとりまく関係者の相互作用が活性化するように良好なコミュニケーションを推進する。</li> </ul> |   |
|-----------------|--|---|
| 区分              | 項目   | 指標  |
| 基礎的素養           | 法令遵守<br>人権感覚   | 高いコンプライアンス意識と豊かな人間性、鋭い人権感覚を有し、人権尊重の視点に立った学校づくりに向け、誠実かつ公正に職務に当たっている。   |
|                 | 決断力<br>発信力   | 豊かな経験に基づいて的確に判断し迅速に決断する力を有し、教職員・児童生徒・保護者等に対して明確な意思や説得力のあるビジョンを発信している。   |
|                 | 情熱<br>責任感  | 児童生徒への深い愛情と教職への誇りをもって教育に当たるとともに、強い使命感と責任感をもって学校経営に当たっている。   |
|                 | 自己教育力<br>探究心   | 社会の動向や新しい教育課題を把握し、幅広い視野で学校経営や児童生徒の育成が行えるよう、研修や情報収集に積極的・継続的に取り組んでいる。   |
| 学校経営<br>マネジメント力 | ビジョンと<br>目標の具現化  | 第2期奈良県教育振興大綱をはじめ、国や県、市町村の教育施策を理解した上で、自校の教育目標を設定し、その具現化に向け目標の共有と教職員間の連携を図りながら組織的に取り組んでいる。  |
|                 |  | 多様な教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、全ての児童生徒が尊重される学校づくりに取り組んでいる。   |
|                 |  | 学校評価など教育データの結果を踏まえ、教育活動や学校運営の状況を把握し、学校運営の改善と発展に取り組んでいる。   |
|                 | 教育課程と<br>授業の改善   | 自校の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えたとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、「学ぶ力」と「生きる力」を育むための教育課程を編成している。  |
|                 |  | 各教員に児童生徒の情報活用能力育成の必要性を理解させ、教員のICT活用指導力の向上及び自校の教育の情報化を計画的・組織的に推進している。  |
|                 |  | 児童生徒と向き合ったり教材研究を行ったりする環境を整え、各教員のキャリアステージに応じて、授業改善等について適切な指導・助言を行っている。   |
|                 |  | 質の高い教育を児童生徒に提供できるよう校内研修の推進を図るとともに、教科等研究会等の活動に積極的に関わるなど、県や郡市での教育研究活動の推進に寄与している。  |
|                 | 危機管理   | 問題行動や不登校等の生徒指導上の諸課題に対して校内組織を機能させ、適切な対応方針を示している。   |
|                 |  | 日常の学校における安全管理及び保健管理に努めるとともに、災害や想定外の事態に備えて「危機管理マニュアル」の整備と周知を行い、組織的対応ができる体制を整えている。また、危機発生時には関係機関と連携し、迅速かつ的確な指示をすることができる。          |
|                 |  | 学校事務職員等と連携し、予算執行、施設管理、文書管理及びセキュリティ管理等を適切に行っている。   |
| 情報分析<br>活用力     | 人材育成   | 教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年、教科等によるOJTを推進するとともに、キャリアステージ及び研修履歴等に応じた外部での研修(Off-JT)を促し、「学び続ける」教職員を育成している。                             |
|                 |  | 全ての教員が特別支援教育に関する理解を深め、専門性をもって児童生徒の指導に当たれるよう、教員配置や研修内容等を工夫している。  |
|                 |  | 人事評価制度の意義を理解するとともに、「資質向上に関する指標」を活用して教職員に具体的な指導・助言等を行い、資質・能力の向上を図っている。   |
|                 |  | 日常のコミュニケーションを通して信頼関係を築くとともに、充実したラインケアの構築に努めている。また、教職員にセルフケアを意識付け、メンタルヘルス不調の予防及び速やかな初期対応並びにハラスメント等の防止に努め、風通しがよく働きやすい職場づくりを行っている。 |
|                 |  | ワーク・ライフ・バランスの考え方にに基づき、教職員が心身ともに健康で誇りとやりがいをもって働くことができるよう、勤務時間等の管理を適正に行うなど、業務の改善や働き方の見直しを行っている。                                   |
| 調整力             | 家庭・地域・<br>関係機関との連携   | 家庭や地域・関係機関等に学校の方針や運営状況等を分かりやすく伝え、学校経営目標を共有し、「地域と共にある学校づくり」を推進している。  |
|                 |  | 異校種間の接続・連携や近隣の学校等との情報交換を積極的に行っている。  |
|                 |  | 教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整を行いながら学校の課題解決につなげている。  |



## (6) 奈良県副校長・教頭の資質向上に関する指標

|         |   |
|---------|---|
| 求められる役割 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校内外の実態に基づいた学校経営目標を理解し、広い視野とリーダーシップを発揮して学校経営を補佐する。</li> <li>○ 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できるよう人材を配置の調整を図りし、健全で安全な組織づくりを推進する。</li> <li>○ 学校の教育力増進のため、学校をとりまく関係者の相互作用が活性化するよう良好なコミュニケーションを推進する。</li> </ul> |
|---------|---|

| 区分                 | 項目   | 指標  |
|--------------------|--|---|
| 基礎的素養              | 法令遵守<br>人権感覚   | 高いコンプライアンス意識と豊かな人間性、鋭い人権感覚を有し、人権尊重の視点に立った学校づくりに向けて、誠実かつ公正に職務に当たっている。  |
|                    | 判断力<br>コミュニケーション力  | 豊かな経験に基づいて的確に判断し迅速に対応する力を有し、教職員・児童生徒・保護者等に対して学校における教育活動や取組を丁寧に説明している。   |
|                    | 情熱<br>責任感  | 児童生徒への深い愛情と教職への誇りをもって教育に当たるとともに、校長を補佐し、強い使命感と責任感をもって学校運営に当たっている。  |
|                    | 自己教育力<br>探究心   | 社会の動向や新しい教育課題を把握し、幅広い視野で学校運営や児童生徒の育成が行えるよう、研修や情報収集に積極的・継続的に取り組んでいる。   |
| マネジメント能力           | ビジョンと<br>目標の具現化  | 第2期奈良県教育振興大綱をはじめ、国や県、市町村の教育施策を理解した上で、校長を補佐し、自校の教育目標の共有とその具現化に向けた取組を教職員と連携を図りながら推進している。  |
|                    |  | 多様な教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、全ての児童生徒が尊重される学校づくりに取り組んでいる。   |
|                    | 教育課程と<br>授業の改善   | 学校評価など教育データの結果を整理・分析して、教育活動や学校運営の状況把握を行い、校長を補佐して学校運営の改善と発展への取組を提案・実践している。   |
|                    |  | 自校の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、「学ぶ力」と「生きる力」を育むための教育課程の実施に向けて組織的な取組を推進している。                                   |
| 危機管理               | 各教員に児童生徒の情報活用能力育成の必要性を理解させ、教員のICT活用指導力の向上及び自校の教育の情報化を計画的・組織的に推進している。                 |   |
|                    | 児童生徒と向き合ったり教材研究を行ったりする環境を整え、各教員のキャリアステージに応じて、授業改善等について適切な指導・助言を行っている。                |   |
|                    | 自校の教育目標達成のために、関係機関等との連携を図り、質の高い教育を児童生徒に提供できるよう組織的な校内研究体制を構築するとともに、効果的な校内研修の推進を図っている。 |   |
| 情報分析活用能力           | 危機管理   | 児童生徒一人一人の問題行動や不登校等の状況把握を的確に行い、校長の対応方針に基づき、生徒指導上の諸課題に対して校内組織を機能させ適切な対応をしている。   |
|                    |  | 日常の学校における安全管理及び保健管理を的確に行うとともに、「危機管理マニュアル」の不断の見直しと周知を行い、組織的対応ができる体制を整えている。また、危機発生時には速やかに状況を把握し、校長の方針に基づき迅速かつ的確な対応をすることができる。      |
|                    | 人材育成   | 校長を補佐し、学校事務職員等と連携して、予算執行、施設管理、文書管理及びセキュリティ管理等を適切に行っている。   |
|                    |  | 教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年、教科等によるOJTを企画・推進するとともに、キャリアステージ及び研修履歴等に応じた外部での研修(Off-JT)を促し、「学び続ける」教職員を育成している。                          |
| 調整力                | 人材育成   | 全ての教員が特別支援教育に関する理解を深め、専門性をもって児童生徒の指導に当たれるよう、教員配置や研修内容等を調整している。  |
|                    |  | 人事評価制度の意義を理解するとともに、「資質向上に関する指標」を活用して教職員に具体的な指導・助言等を行い、資質・能力の向上を図っている。   |
|                    | 家庭・地域・<br>関係機関との連携   | 日常のコミュニケーションを通して信頼関係を築くとともに、充実したラインケアの構築に努めている。また、教職員にセルフケアを意識付け、メンタルヘルス不調の予防及び速やかな初期対応並びにハラスメント等の防止に努め、風通しがよく働きやすい職場づくりを行っている。 |
|                    |  | 教職員一人一人の勤務実態等を常に把握し、教職員が心身ともに健康で誇りとやりがいをもって働くことができるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた指導・助言、連絡調整を行っている。                                      |
| 家庭・地域・<br>関係機関との連携 | 家庭や地域・関係機関等に学校の教育内容や方針等を分かりやすく伝え、連携・協力を得ながらつながりを深め、「地域と共にある学校づくり」を推進している。            |   |
|                    | 校長の経営方針の下、異職種間の接続・連携や近隣の学校等との情報交換を積極的に行っている。   |   |
| 調整力                | 家庭・地域・<br>関係機関との連携   | 校長の経営方針の下、教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整を行いながら学校の課題解決につなげている。  |

